

はっとこどもえん えんだより 2025ねん

7期：1月13日～2月23日



作品：5歳児

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenkai.jp URL：<http://www.tanenkai.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenkai@jupiter.ocn.ne.jp



★ ウォッチマンについて

園庭で黄色のビブスを着ている職員はウォッチマンです。仕事内容は子ども達全体の様子を把握し安全・管理に努めています。仕事に集中するためにも黄色のビブスを着ている職員への声かけはご遠慮ください。必要の際には、他の職員へ声かけをお願いします。

★ 生活発表会について

2月15日（土）に3、4、5歳児クラスは生活発表会を行ないます。

0、1、2歳クラスは家庭保育のご協力をお願い致します。詳細は後日、チャイルドケアウェブでお知らせします。

★ご家族が体調不良時の登降園について

ご家庭内に感染症などで体調がすぐれない方がおられる場合の登園は、門で受け入れをし、職員がお子様の保育室まで一緒に行くようにします。お迎えの際は、保育室から門のところまでお連れします。登降園の際、職員室にお声掛け下さい。

対応にお時間を頂戴することもあるかと思いますが、園内での感染拡大を防ぐためにも、ご協力よろしくをお願いします。



☆理念の実現に向けて☆

園長 かたやま 片山

あけましておめでとうございます。2025年は、子ども達のイキイキとした姿はもちろん、いろいろなチャレンジや失敗を重ねるなかで成長している場面など、いままで以上に保育の見える化を図り、発信していきたいと考えております。また保護者の皆様にとっても園に通われるなかで、期待をもって登園したくなる園、何かしらの成長がありそうな面白い園であることを目指します。職員一丸となって理念に向かって園文化を創りあげてまいります。私たち職員と共に保護者の皆様にも積極的に行事や保育に参画・協力頂くことで生活が豊かになっていくものと信じています。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

先月、こども家庭庁は2025年度以降の保育政策を、待機児童対策を中心とした「量の拡大」から地域のニーズを踏まえつつ「保育の質」を重視する政策に転換する方針を示しました。その大きな方針転換は、それぞれの地域でどんな意味があるのか、今は漠然とした受け止めに過ぎない方が保育関係者の中でも多いかと思ひます。少なくとも保育者の処遇改善と業務改善が図られていくことに繋がりそうです。

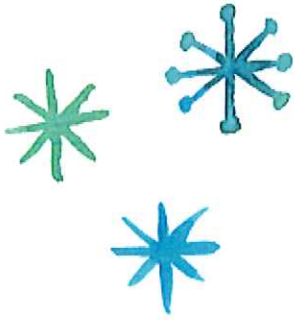
すべての子どもと子育て家庭への支援を強化するというこゝで、私たちも来春から「こども誰でも通園制度」の試行をしていくつもりです。はっとこども園は地域の子育て拠点として様々な機能を持ち合わせていこうと企んでおります。一方で地域によっては、統廃合や規模の縮小が加速していきそうです。

さて、1月は、発表会の取り組みを大切にすゝる期です。保育士以外の栄養士・事務員・看護師等の職員も行事に向けて各々が役割を果たすべく関わります。子ども達の日々の様子・ドラマに乞うご期待ください。

また1月は、次年度の職員体制についても本格的に検討する時期になります。子ども達のための、教育保育の充実、食育強化、子どもの人権を尊重するような丁寧な関わりというコアなお仕事に加え、生活に潤いをもたらす行事の研究、地域家庭や地域施設との連携の充実、リスクマネジメントの強化など、理念や社会のニーズに基づき活気ある園づくりをしていくための体制づくりです。

人事こそ丁寧に考慮します。担任やフリー職員などの配置体制は、園長の独断だけで決めていません。一人ひとりの希望をヒアリングし「仮に自身が園長ならば全体の配置をどうするか」という提案も出してもらっています。自身の希望と全体バランスとを考慮した中に出てくる提案は、一人ひとりの考えと全体人事案を磨いてくれます。

管理職はプレゼンを受け、様々なアイデアを参考にしつつ、調整して決定していきます。職員一人ひとりの意見は尊重されますが、希望が叶う者もあれば、叶わない者も出てきます。特に叶わない者には丁寧に意図や想いを対話し、理解度と納得度を高めてもらえるように働きかけます。決定プロセスにおける民主主義度の高さ、理念であるところの「大人同士の関係性の再構築！」の体現に努めるこゝで、子どもを含めた「みんなでみんなをみる園づくり！」が実態として機能していくことを今年も願っています。



失敗のなかで

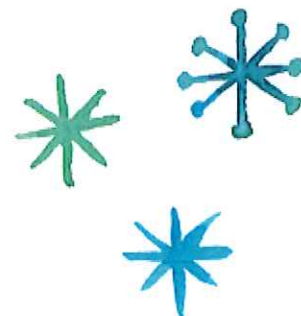
副主幹教諭 ふくやま
福山

はっとこども園の園庭は、いろいろな種類の草木や植物が植えてあったり、築山があったりと平坦ではなく、あえて起伏がある構造になっています。乳児クラスからその園庭で遊んだり毎朝サーキットに取り組んだりしていることで、足腰の力や体幹を養い転んでもケガをしにくい身体作りに繋がっています。

また、遊んでいる中で、周りから見えにくい場所で遊んだり、高いところに登ったり、砂や泥を口に入れてみたりすることがあります。ついつい「危ないよ」「汚いよ」と声をかけたり、手を差し出したりしてしまいがちですが、子どもはいろいろな形で外へ働きかけて、自分と外部への関係を確認し、自ら判断をする体験をしています。そこで大人が「危険な目に合わないように」と予防してしまうと、その体験ができなくなってしまいます。取り返しのつかない大きな事故や失敗は避けなければなりません、軽いケガ程度の取り返しのつく失敗はうんとさせてあげたいところです。取り返しのつく失敗をたくさん認めさせることで、子どもの自主性が身につくとわれています。

トイレトレーニングもその一つです。失敗しないようにと、口を出しすぎるよりも「失敗しても大丈夫よ」と、ゆったりと進めることでセルフコントロールのしっかりした自分で自分を律する子になります。おもらしをしてしまっても、安心して伝えることのできる関係性を大事にすること、何もなかったかのようにパンツを取り換えて知らん顔をしてあげることで、自分で自分を律する子に育てていくそうです。

いろいろな失敗をしていく中で、自分で判断するという経験が必要になってきます。大人が失敗しないように先取りして手を出すことはせず、子どもを信頼して行動を見守ることで、自分で判断する経験をたくさんし、自分で考える力が身に付き、将来、人生のいろいろな岐路や壁にぶつかった時に、安心して自分の判断で自信のある行動を選べるようになります。子どもの失敗をそっとサポートし、判断力や自主性を受け止め認めてあげてくださればと思います。





〇さい
おひさまぐみ

たけなが
竹中
いずみ
泉
まえだ
前田
かとう
加藤

〇歳児 7期(1月13日~2月23日)

冬を味わう期

- 【ねらい】 戸外で冬の寒さを感じ、身体を動かすことを楽しむ
絵の具や花紙などの感触遊びを楽しむ
- 【うた】 ♪ゆきのこぼろず ♪コンコンクシャン ♪豆まき など
- 【わらべうた】 ♪だるまさん ♪もぐらどん ♪いっちくたっちく など
- 【領域活動】 戸外遊び・クレパス・シール貼り・粗大遊び
絵の具(赤)・感触遊び(花紙・小麦粉など)・楽器遊び など
- 【食育】 柑橘類(1月) 冬野菜(2月)
- 【栽培】 ブロッコリー
- 【異年齢活動】 クローバーデー・乳児交流



米粉粘土で遊んだよ

みんなで米粉粘土を使って遊びました。手のひらでトントンと叩いたり、頬にくっつけたり、柔らかい感触や形が変わる面白さを楽しんでいた子ども達。両手を使ってちぎることに夢中になったり、指先にくっつくたびに「あ」と保育者に教えてくれたりと、それぞれが好きな遊びを見つけしていました。また、子ども達が散歩や絵本、歌などで親しんできた、どんぐりを用意しました。どんぐりをつまんで米粉粘土にさし、保育者やお友達と一緒に「ハッピーバースデー」の歌を歌ってケーキに見立てて遊ぶ姿も見られました。子ども達は、いろいろなものに関心をもち、五感を働かせて遊ぶことを楽しんでいます。これからも、さまざまな感触遊びを楽しんでいきます。



音に合わせて♪

1歳児の子ども達は、毎夕、ピアノの音に合わせて動物や乗り物を体で表現するリトミックを行なっています。隣の部屋からいつもその姿を見ている〇歳児の子ども達も、音が聞こえてくると自然と体が動いています。1歳児の動きを見て真似て、「うさぎ」や「かえる」など表現あそびを楽しんだり、一緒に混ざって体を動かしたりしています。また「親子でメリーゴーランド」「じょうぶないす」といったふれあい遊びでは、お友達の元へ“手をつなごう”と誘いに行き、輪になりメリーゴーランドを作ることができたり、お友達の膝の上に座りトントンと肩をたたいたり、子ども同士の関わりも多く見られるようになり成長を感じています。



1さい
おひさまぐみ

たけなか まえだ
竹中 前田
いずみ かとう
泉 加藤

1歳児 7期：冬を味わう期（1月13日～2月23日）

- 【テーマ】 冬の寒さを感じながら様々な遊びを楽しむ
 - 【室内活動】 クレパス（三原色）・絵の具遊び（赤）・楽器遊び（鈴・タンブリン）
感触遊び（小麦粉粘土・油粘土・春雨・トイレットペーパーなど）
 - 【戸外活動】 園庭遊び・散歩（HAT内・近隣の公園）
 - 【うた】 ♪ゆき ♪豆まき ♪いとまきのうた など
 - 【わらべうた】 おしくらまんじゅう・だるまさん・もぐらどん など
 - 【異年齢交流】 乳児交流・クローバーデー
 - 【栽培】 ブロッコリーの水やり
 - 【食育】 柑橘類（1月）・冬野菜（2月）
- ※内容は変更になる場合があります



絵の具で遊んだよ



これまでも何度か排出遊びを経験してきた子ども達。今回は、紙ではなく、透明のシートの上で排出遊びをしました。絵の具を出すと、まずは指先でツンツンと触ったり、絵の具を垂らしたりしながら遊んでいました。シートに水を垂らし、そこに絵の具のついた指先でそっと触れると、じんわりと絵の具が広がっていくことに気が付き、興味津々な様子でした。次第に指先から手のひらへと遊びが大胆に広がっていき、最後は机全体に絵の具を広げ大興奮の子ども達でした。子ども同士で関わり合いながらたくさん遊ぶことが出来ました。



お散歩

12月に入り、本格的に冬の寒さを感じる季節になってきました。6期では、天気の良い日に散歩に出かけて、松ぼっくりや落ち葉など冬の自然に触れました。保育者や友達と手を繋いで、一緒に歩きながら散歩を通して季節を感じる事が出来ました。今期も気温に合わせて、お散歩を楽しみたいと思います。





2さい
なぎさぐみ

すそぐち ふじやうら ふくおか
栗口・藤村・福岡

7期 冬を味わう期（1月13日～2月23日）

- 【テーマ】 戸外遊びを通して、冬の寒さを感じる
友達とルールのある遊びを楽しむ
- 【室内活動】 絵の具 はさみ のり など
- 【うた】 ♪ゆき ♪雪だるまのチャチャチャ ♪豆まき など
- 【わらべうた】 もちっこやいて おしくらまんじゅう かごめかごめ など
- 【集団遊び】 かくれんぼ はないちもんめ など
- 【戸外活動】 園庭遊び・さんぽ（HAT内・近隣の公園）※気温を考慮します
- 【食育】 栽培した野菜でクッキング（かぶ・小松菜） 冬野菜
- 【異年齢活動】 クローバーデイ 乳児交流 幼児クラスと交流



幼児に向けて



なぎさ組ではおもちゃで遊ぶときのマークの使い方を覚えたり、2階のお部屋で過ごしたりと幼児に向けて新しい習慣を身に付けています。

12月から、1グループずつ（4人～5人）で幼児クラスに給食を食べに行ったり夕方の時間うみの部屋に遊びに行ったりしています。

うみの部屋ではおもちゃの遊び方を教えてもらい、一緒に机上遊びやクレーンゲームなど好きな遊びを見つけて遊んでいます。

また、室内の関わりだけでなく岩屋公園と一緒に散歩に行きました。「もうすぐ着くよ」「頑張っているね」などと、声をかけてもらいながら手を繋いで行くこともできました。お兄ちゃんお姉ちゃんに優しくしてもらってとても嬉しそうなお子様達です。

無理なく慣れていけるように関わっていきたいと思います。



7期（1月13日～2月23日）

- 【テーマ】 節分・発表会～冬を楽しもう～
- 【絵画・製作】 はさみ・のり遊び～鬼のお面作り～
絵の具遊び～3原色を使って混色を楽しもう～
- 【うた】 ♪すうじのうた ♪ゆき ♪やまのおんがくか
♪豆まき ♪鬼のパンツ ♪やぎさんゆうびん
- 【異年齢活動】 フリーデー 乳児クラスと交流 発表会見せ合いっこ
- 【楽器】 リズム打ち 合奏
- 【農育】 冬野菜の水やり・収穫
- 【戸外活動】 散歩（近隣の公園）
- 【表現遊び】 劇遊び（おおきなかぶ・くれよんのくろくん）
- 【絵本】 おにはそと おなかのなかにおにがいる

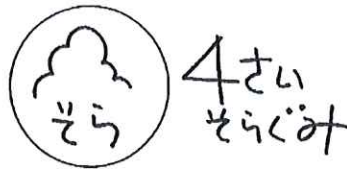
絵の具遊び～筆との出会い～

初めて筆を使って遊びました。子ども達に目を瞑って両手を出してもらい、筆で手をくすぐると「絵の具つけて描くやつ!？」とすぐに気付き、興味津々で見えていました。まずは自分の手や腕、頬などで筆の感触を味わい「ふわふわしてる」「くすぐったい」とお友達と感想を言い合う姿がありました。水をつけると「(筆の)色が変わった」「つめたい!」と新たな発見があったようです。その後新聞紙に水だけでお絵描きをしてみると、新聞紙の色が変わることに気付き夢中になっていました。

「早く絵の具をつけたい」とワクワクしていた子ども達に、赤・青・黄の絵の具が入ったパレットを渡すと、思い思いの色を紙にのせていました。色を混ぜていくうちに「赤と青で紫ができた」「黄と青で緑になった」など、混色の組み合わせに気付いて色作りを楽しんでいました。また、紙の端から端までいっぱい筆を伸ばしたり、イメージをしながらお絵描きをしたり、手に絵の具をつけてみたりと、楽しみ方は様々でした。

最後はパレットと筆をピカピカに洗い、お片付けまで上手にできました。





まき井・いとう

7期 (1月13日~2月23日)

【テーマ】	発表会・冬の行事を楽しもう
【絵画・制作】	冬の制作
【うた】	♪きみいろ ♪発表会のうた ♪豆まき ♪おにのパンツ ♪ゆき ♪ゆきのこぼろず ♪ゆきのペンキ屋さん
【園外活動】	散歩
【遊び・音楽活動】	新聞遊び 発表会のお稽古・合奏（ミッキーマウスマーチ）・ピアノカ
【外部講師】	ダンスオブハーツ
【絵本】	てぶくろ ゆきのひ
【農育】	冬野菜の水やり・追肥・間引き
【食育】	大豆の食育

秋の自然物で遊んだよ

「どんぐり公園」でどんぐりやまつぼっくりなどのたくさんの木の实を拾い、その木の实を使って制作をしました。

【どんぐりケーキ】

紙粘土と木の实を使って「どんぐりケーキ」を作りました。紙粘土に「ケーキになる魔法の薬（バニラエッセンス）」を混ぜたことで、紙粘土からおいしそうな香りがして、子ども達もわくわくした様子でした。ケーキを作り始めると、どんぐりを並べたり、カップに紙粘土を入れてカップケーキのように工夫したりと、それぞれが思い描くケーキを作っていました。クリーム絞りも使い、実際にケーキ屋さんになった気分で、ケーキ作りを楽しみました。



【まつぼっくりツリー】

クリスマスには「まつぼっくりツリー」を作りました。まつぼっくりに絵の具で色を塗ったり、ビーズや綿などの飾り付けをしたりしました。ボンドなども使いながら、4歳児ならではの細かい作業にも挑戦しました。なかには、いくつか組み合わせて迫力のある大きなまつぼっくりツリーを作る子どもいました。





5さい
かもめくみ

たかはし ひろこ
高橋・平葉

7期（1月13日～2月23日）

- 【テーマ】 冬～冬を見つけよう～ 表現遊び～役になりきって楽しもう～
- 【絵画・造形】 発表会の背景・小道具づくり
筆ペンを使った絵画
- 【うた】 ♪発表会のうた ♪豆まき ♪ゆき ♪たね
- 【ピアノカ・楽器】 ピアノカメドレー 合奏（夢をかなえてドラえもん）
- 【食育・農育】 冬野菜の水やり・成長観察
- 【異年齢活動】 フリーデー 乳児クラス交流
- 【外部講師】 ダンスオブハーツ プログラミング



クリスマスツリーを作ったよ

グループの友達と協力してクリスマスツリーを作りました。何色のツリーにするのか、どんなツリーを作るのか、どんなオーナメントを付けるのかなど、子ども達で自由に相談しながら作りました。「緑色のツリーがいい」「少し白を入れてみよう」と、絵の具を混ぜ合わせていきながらツリーの色を決めていきました。飾りつけでは、綿や画用紙、ビーズ、まつぼっくりなど、様々な素材を使いました。みんなで飾りをつけていくなかで、「それとっても可愛いね」と、互いに褒め合ったり「星は私が作るね」と、役割分担をしたりして、友達と作る楽しさを味わうことができました。友達と協力して作った、こだわりが詰まったオリジナルツリー。どのグループも個性溢れるクリスマスツリーが完成しました。



クリスマスケーキ

それぞれのグループに分かれてクリスマスケーキを作りました。手順を説明し、材料を渡すと「誰からする？」「最後でいいよ」と声を掛け合い、子ども達で進めていく姿が印象的でした。混ぜ合わせた生地をホットプレートで焼く際に、小さな泡が出てくる様子に気が付き、「泡が〇個でてきた！」「泡が増えてきた！」と、焼けていく様子も楽しんでいました。ケーキの写真を見ながら「こんな感じにしたい！」とこだわってクリームや果物で飾りつけをし、それぞれにお気に入りのケーキが出来上がり、みんなで美味しくいただきました。



フリーのせいせい

やまおか
山岡

かもめ組では、様々な委員会活動があります。「自分に任せられる喜びを感じて自信に繋げる」「責任をもって自分の役割を果たす」「友達と話し合っ物事を決めていく」ということをねらいとして取り組んでいます。今回はそんなかもめ組の委員会活動について紹介します。

○誕生委員会

司会チーム、出し物チームに分かれて誕生会を企画していきます。司会チームでは、誰がどの言葉を言うのか、手遊びは何をするのか、インタビューの内容などを子ども達で決め、本番に向けて練習に励みます。出し物チームでは、どんな出し物をするのか話し合っ、考えていきます。本番は緊張している姿もありますが、やり遂げた後は「楽しかった」と達成感に満ちた表情をしています。

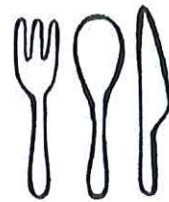
○絵本委員会

2ヶ月毎にメンバーを募り活動しています。自分の大好きな絵本や面白かった絵本など、おすすめ絵本を探して紹介します。子ども達は細かいところまでよく見ており「この場面がおもしろい」と絵本を選んだ理由を教えてください。自分の選んだおすすめ絵本を読んでいる友達の姿に「それ私のおすすめ絵本」と、嬉しそうな表情を浮かべています。絵本コーナーにPOPを掲示していますので、ぜひ、ご覧ください。

○サーキット委員会

普段、体育講師の難波先生がサーキットのコースを考え、進めている体育遊びですが、子ども達が難波先生に代わってオリジナルのコースを考えます。子ども達は自身の経験したものや見たことのあるコースだけでなく、「こんなコースがあったら面白いかも！」とアイデアを出し合っ、実際にサーキットを組み何度も話し合っを重ねます。本番は先生さながらに最初の挨拶から、体操、組み換え、そして最後の挨拶まで行ないます。終わった後は「頑張っよかった」「コースを考えるのが楽しかった」と達成感でいっぱいの子も達の姿がありました。次回は、発表会後に予定しています。(年間2回行ないます)

お台所の先生から



こんどう ふくい
近藤・福井

節分について



2025年の節分は2月2日です。節分とは年に4回訪れる立春、立夏、立秋、立冬の前の日を指す言葉だそうです。また旧暦では立春が1年の始まりとされていたため、正月行事の一環として実施されていました。季節の変わり目と新年を迎える行事が重なり、より重要な行事として現代に伝わり、いつしか節分と言えば、立春の前日の節分を指すようになったようです。節分で行われる豆まきの際、年の数だけ豆を食べるというのも新年に行っていた行事だというのが関係しているそうです。節分にはいろいろな行事が各地に伝わっていますが、ルーツは中国にあるものの日本独自の伝統文化として発展したようです。邪気を払い一年の無病息災を願うため、豆まき、恵方巻、柊翳を玄関に飾る、といった事をします。現在ではこういった伝統が伝えられる機会が少なくなっていますので一般的な方法と注意点をご紹介しますと思います。

○豆まき 鬼は真夜中に来ると言われているので、豆まき（ボールや新聞紙等）は夜が適しているとされています。玄関から一番遠い部屋から玄関の方に向かって豆をまいていきますが、「鬼は外」と言いながら部屋の外に、「福は内」と言いながら部屋の中に向かって豆をまいていきます。すべての部屋で豆まきを終わったら終了です。

小さな子ども達には豆まきの豆などは注意が必要です。噛む力が十分でない子どもは喉や気管に豆を詰まらせたりする危険があるので、一例ですが、小さな柔らかいボールや、丸めた新聞紙などで代替えしましょう。

○恵方巻 もともと関西が発祥だと言われています。巻きずしを恵法を向いて食べますが、その際心の中で願い事をしながら黙って食べると願いが叶うとされています。2025年の恵方は西南西だそうです。また、注意点は小さな子どもは海苔が口の中に貼りついたり、噛み切ることが難しかったりしますので、海苔を細かく切ってお飯に貼り付ける、海苔に切り込みを入れるなど年齢に合わせて食べやすくなるように工夫をしてみてください。

○柊翳 焼いてにおいを強くした翳の頭を柊の枝に刺した飾りを玄関に飾ります。玄関先に鬼が苦手な生臭い匂いと、柊の痛いとげを飾り鬼が入って来ないようにすることが狙いです。最近は柊翳を飾るご家庭は少ないかと思います。節分に翳を食べるご家庭は残った翳の頭で飾りを作り、このような習わしがあるという事を子ども達に教えてあげられる機会にされてはいかがでしょうか？

園では、2月3日のおやつに巻きずしを提供します。子ども達には楽しみながら伝統行事や行事食を体験してもらえたらよいと思います。また、感染症が気になるシーズンですが節分で食べる豆や翳等の良質のたんぱく質を摂り、病気に負けない身体づくりをしていただければと思います。



ほけんだより7期



看護師 ならき 樹木

子ども達は、元気いっぱい園生活を送っていますが、この時期体調を崩されるお子様も増えてきます。体調不良の時、早めに医療機関を受診して頂いたり、休養取っていただいたり、感染拡大予防にご協力いただき、感謝しております。今年も1年よろしくお願ひ致します。

<鼻水のお話>

- ① 鼻水は、細菌やウイルス、ほこりなどの有害なものを体内に取り込まないようにします（くしゃみによって積極的に異物を排出し、鼻づまりを起こしてこれ以上異物が、侵入してこないようにするといった防御機能が備わっています）
- ② 外から取り込んだ空気を適度に加湿します



<鼻水が長引くのは、病気のサイン>：気になることがあったら耳鼻科を受診しましょう

*風邪をひいていないのにしょっちゅう鼻がつまったり、鼻水が出たりしている

→アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎の疑い

*鼻づまりがあり、しきりに耳を触る→急性中耳炎の疑い

*いつも目やにや鼻水が出る →鼻涙管閉塞や結膜炎の疑い



<子どもの肌を守る為のスキンケア>

子どもは肌の水分を保つ機能が未熟なため、大人よりも肌が乾燥しやすいです。

特に空気が乾燥する冬はお子様は湿疹などの肌トラブルが起きやすい時期。肌を守るために、スキンケアをしましょう。

お風呂はぬるめのお湯で、刺激の少ない石けんをよく泡立て、手のひらで優しく洗いましょう。

水分が失われやすいお風呂上りは、ローションを塗って、水分補給をしてワセリンで肌の表面に膜を作る保湿が効果的です。肌荒れの場合、追加で朝の保湿も必要です。

それでも治らない場合は、医療機関を受診し、お肌に合ったケアをお願いします。

ウェルネス体育あそび

体育講師：難波

あけましておめでとうございます。

体育遊びでいろいろな動きに挑戦して、神経系の発達と調整力全般を高めていきます。

今年もよろしくをお願いします。

第7期の取り組みとねらい

〇3 歳児クラス

- ・今まで積み重ねてきた基本動作を確かなものにしていく。
- ・複合動作①（～しながら～するという2つの動作を同時に行なう）を、たくさん実施していく

〇4 歳児クラス

U形サーキット

- ・複合動作①（～しながら～するという2つの動作を同時に行なう）を、確かにしていく。
- ・複合動作②（・・・しながら・・・して・・・する、というように、1つの動作に3つ以上の動きを同時に行なう）を実施していく。

〇5 歳児クラス

U形サーキット

- ・今まで経験してきた、複合動作②（～から～して～する。という3つの動作を同時に行なう）の、安定を図る。
- ・複合動作③（上肢は・・・しながら、下肢は・・・しながら・・・するというように、1つの動作に上肢と下肢を同時に行なう）を、確かにしていく。

ポイント指導

〇3 歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒回転力を使い、起き上がりまで行なう。
- ・跳び箱「台上からジャンプで開脚乗り」⇒台上からジャンプで降りた後、すぐにジャンプを行ない、開脚で跳び箱に乗る。
- ・鉄棒「前回り下り」⇒鉄棒で腕支持を行ない、手を離さず前に回る。

〇4 歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」⇒手の平をマットにつけて回る。出来てきたら坂無しで後ろに回る。
- ・跳び箱「開脚跳び」⇒踏みきりを強く行ない、跳び箱を跳び越す。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒壁を強くけり、お腹を見ながら回る感覚を養う。

〇5 歳児クラス

- ・マット「側転」⇒手を着くときにマットを見ながら足を高く上げる。
- ・跳び箱「開脚跳び」⇒踏切から着地までの動作を行ない、安定した着地を行う。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒鉄棒をひきつけながら足を蹴り上げ、腕支持までを行なう。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方も
お顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本